

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2018-42785(P2018-42785A)

【公開日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2016-180415(P2016-180415)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月27日(2018.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行可能な遊技機であって、

計時を行う計時手段と、

表示手段と、

遊技者にとって有利な有利状態とするか否かを決定する決定手段と、

前記計時手段の計時結果が所定条件を満たしたときに、前記表示手段において所定期間にわたって実行される所定演出を該所定期間中である旨を特定可能な表示態様で実行する所定演出実行手段と、

前記所定期間と前記所定期間以外とのいずれにおいても特定演出を実行可能であり、前記所定期間においては、前記決定手段により前記有利状態とすると決定されたときに前記特定演出を実行可能である特定演出実行手段と、

前記所定期間において、前記特定演出が実行された場合に条件成立演出を実行する条件成立演出実行手段と、

前記条件成立演出の実行以後に前記有利状態に制御する有利状態制御手段と、

前記所定期間が開始される際に実行されている可変表示について前記決定手段によって前記有利状態としない決定がされている場合には、該可変表示中に前記特定演出が実行されないように規制する規制手段と、を備える、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(手段A)上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、可変表示を実行可能な遊技機であって、計時を行う計時手段と、表示手段と、遊技者にとって有利な有利状態とするか否かを決定する決定手段と、前記計時手段の計時結果が所定条件を満たしたときに、前記表示手段において所定期間にわたって実行される所定演出を該所定期間中である旨を特定可能な表示態様で実行する所定演出実行手段と、前記所定期間と前記所定期間以外とのいずれ

においても特定演出を実行可能であり、前記所定期間においては、前記決定手段により前記有利状態とすると決定されたときに前記特定演出を実行可能である特定演出実行手段と、前記所定期間において、前記特定演出が実行された場合に条件成立演出を実行する条件成立演出実行手段と、前記条件成立演出の実行以後に前記有利状態に制御する有利状態制御手段と、前記所定期間が開始される際に実行されている可変表示について前記決定手段によって前記有利状態としない決定がされている場合には、該可変表示中に前記特定演出が実行されないように規制する規制手段と、を備える、ことを特徴とする遊技機。

(1) 上記目的を達成するため、本発明の他の遊技機は、可変表示を実行可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1など）であって、計時を行う計時手段（演出制御メイン処理内のステップS71A、S71B、S74Aの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態など）とするか否かを決定する決定手段（例えばステップS110の処理を実行するCPU103など）と、前記計時手段の計時結果が所定条件を満たしたときに（例えばステップS854の処理でYesの判定がされたときなど）、所定期間所定演出（例えば一斉演出など）を実行する所定演出実行手段（例えば、ステップS169の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記所定期間と前記所定期間以外とのいずれにおいても特定演出（例えば特定予告）を実行可能であり、前記所定期間においては、前記決定手段により前記有利状態とすると決定されたときに前記特定演出を実行可能である特定演出実行手段（例えば、ステップS542やステップS542Aの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記所定期間において、前記特定演出が実行された場合に条件成立演出を実行する条件成立演出実行手段（例えば、ステップS549の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記条件成立演出の実行以後に前記有利状態に制御する有利状態制御手段（例えば、ステップS176の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記所定期間が開始される際に実行されている可変表示について前記決定手段によって前記有利状態としない決定がされている場合には、該可変表示中に前記特定演出が実行されないように規制する規制手段（例えば、(i)ステップS803でNo、ステップS804でYesと判定されてステップS806の処理を実行する演出制御用CPU120や、(ii)ステップS822でNo、ステップS823でYesと判定されてステップS824の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備える。このような構成によれば、所定期間に移行するときの遊技興趣が低下するのを防止することができる。